

## オオワシ（タカ科） 全長95センチ

3月6日、ペアーレ大仙の野鳥講座は、大湊村に飛来する渡り鳥の観察会でした。

昨年は、民家の裏山に佇むオオワシを間近に観察できたことから、今年も再会出来るだろうと期待を胸に出発したところでした。

八郎潟町と大湊村を結ぶ「大湊橋」から、遠くにオオワシの小さな影が見つかりました。距離は大分あったので、バスで堤防を移動。オオワシに逃げられない距離まで近づき、そっと眺めることにした。



翼を広げると2m40センチにもなる世界最大級のワシ。

東部承水路はようやく氷が溶けだした頃で、大部分は結氷状態であった。氷の上にはオオワシが2羽、オジロワシ1羽が佇み周囲を見渡していた。

オオワシの黄色いクチバシは特に大きく、鋭く曲がっています。白黒の身体と堂々たる姿勢から、他を圧倒するような迫力と凄味が漂います。双眼鏡で覗くと、テレビや写真集で見る北海道の流氷上で見ているような錯覚になりました。



大きな嘴、堂々とした風貌は他を圧倒します。



目の前をオナガガモが飛び交った。

ついにオオワシが氷上から飛び立った。

突如現れた大形猛禽類に危険を察知したのだろう、遠くの水面から数えきれない程のオナガガモやマガモなどが一斉に舞い上がり空中を乱舞。オオワシは上空をゆっくりと旋回し対岸の電柱に羽を休めると、カモ類は何事もなかったかのように元の場所に降り、湖面には静寂な時が戻ってきました。国の天然記念物と絶滅危惧種 2 類に指定され、極東ロシア地域だけで繁殖する世界的に貴重な猛禽類です。

世界で最も美しい猛禽類と評されるオオワシ。今頃は北海道へと渡り、そのあとロシアの繁殖地へと旅立っていくことでしょう。



電柱で休むオオワシの横を飛び交うオナガガモ。



空中でオジロワシ(左)とオオワシが互いに威嚇し合っていた。